

平成29年7月九州北部豪雨災害に係る復旧復興支援の報告

1 経過

平成29年7月 5日 平成29年7月九州北部豪雨発生
平成29年7月12日 福岡県への災害支援寄附金の専用受付開始
平成30年3月31日 災害支援寄附金の専用受付終了

2 寄附概要

受付開始 : 平成29年7月12日
受付終了 : 平成30年3月31日
寄附件数 : 1,060件
総寄付額 : 金 71,131,593円

3 被害状況

平成29年7月5日から6日にかけて筑後地方の特定の地域で猛烈な雨が降り続き、朝倉市内の観測所では9時間で774ミリという雨量を観測しました。これは朝倉市の7月分の平均雨量の2倍を超える量であり、これまでの観測記録を更新する大雨となりました。

これにより福岡県内では朝倉市、東峰村を中心に甚大な被害に見舞われ、死者・行方不明者39名という人的被害のほか、建物被害も全壊・半壊・一部損壊が1000件以上、床上・床下浸水被害が600件以上に及びました。

また道路や河川においても多くの場所が寸断され、ピーク時には1,016名の方が孤立を余儀なくされ、最大避難者数は725世帯、2,303名に上りました。

この災害による道路、河川、農林水産業、商工業などに与えた被害総額は1,941億円に及んでおり、福岡県における戦後最大規模の被害となっています。

4 初動対応とその検証

平成29年 7月 5日 : 知事を本部長とする災害対策本部を設置
平成29年11月14日 : 「平成29年7月九州北部豪雨災害対応検証委員会」の設置
平成30年 1月 1日 : 災害対策本部から災害復旧・復興推進本部へ移行
平成30年 3月29日 : 災害対応に関する検証結果報告書を作成

福岡県では今回の豪雨災害に対し、災害対策本部を設置し、発災直後から関係機関と連携し、人命救助等の応急対応に全力を挙げて取り組むとともに被災地の状況や局面の変化に応じて、被災者の生活再建、商工・農林水産業者の事業継続の支援、道路・河川などの公共土木施設等の復旧に対応しています。

また、今回の豪雨災害の対応を検証し、その経験や教訓を今後の防災対策の充実・強化につなげていくため、平成29年11月に「平成29年7月九州北部豪雨災害対応検証委員会」を設置。翌3月に報告書を作成することができました。福岡県のHPでダウンロードできます。是非ご高覧下さい。(www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kennsyou29.html)

5 災害復旧・復興支援の取組み

災害発生後、最初の平成29年度9月議会補正予算において、豪雨災害復旧復興対策費を計上して以降、最新の平成31年度暫定予算に至るまで災害復旧・復興支援のための取組みは継続して実施されており、今後も引き続き取り組んでいく所存です。

下記は災害発生から今までに実施した復旧復興支援の取組みの一例です。

① 被災者の生活支援

- ・ 支援物資の提供や健康管理の実施などの応急救助の実施
- ・ 災害見舞金や被災者生活再建支援金の支給
- ・ 住宅再建の助成や融資及び架設住宅等の住環境整備

② 商工業者、農林水産業者に対する支援

- ・ 融資による金融支援や即売会開催、地域商品券の発行などの販売支援
- ・ 農地・農業用施設の復旧や農業用機械・ハウス施設の再取得、修繕の支援
- ・ 林道の復旧や林業用機械・木材加工施設等の再整備の支援
- ・ コイやアユの産卵場の造成、県が培養したスイゼンジノリの元種の放流

③ 公共土木施設等の復旧

- ・ 被害拡大防止のための流木等災害廃棄物の撤去と大型土のうの設置
- ・ 道路や河川、砂防施設などの復旧及び改良工事の実施
- ・ 土石流やがけ崩れが発生した箇所には砂防ダム等を設置

